

CS 言明書

(会社名:日本マイクロソフト株式会社)

(役職 代表取締役 社長)

(氏名 野野 拓也)

当社は、下記クラウドコンピューティングサービスを提供するにあたり、「クラウド情報セキュリティ基本言明要件」（「クラウド情報セキュリティ管理基準」）の求める  
ところに従い、情報セキュリティガバナンスのもとで情報セキュリティマネジメントを  
実施し、基本リスクに対する管理策を整備、実装、運用しています。

1.クラウドコンピューティングサービス名称

Microsoft Azure

2.対象範囲

・ Microsoft Azure

サーバーリソースを提供するサービスにおいて当社の責任範囲は構内ネットワーク・ハードウェア・仮想化環境および初期提供状態の OS までのインフラレイヤーとして定義します。

※仮想マシン利用開始後の OS のパッチ等の更新、個別の仮想マシンのウイルス対策等については利用者側に更新責任が生じます

3.対象リスク

基本言明要件に対応した全てのリスクを対象としています。（リスクの詳細は、「付 1. 対象リスク（詳細）」参照）

#### 4.詳細言明

##### (1)情報の漏えいリスクに関して

当サービスでは、当社の管理下にあるクラウドコンピューティング内にあるお客様の情報への、第三者の許可されないアクセスの防止について適切な管理策を施し、情報の漏えいリスクに対する管理策を行っています。

##### (2)情報と処理の改ざんリスクに関して

当サービスでは、クラウドコンピューティング内の情報及び処理が網羅されない、正確でない（改ざんされる等）によるリスクに対する管理策を行っています。

##### (3)サービス利用不能リスクに関して

当サービスでは、クラウドコンピューティングの特徴に起因するサービス停止や情報の利用阻害のリスクに対する管理策を行っています。

##### (4)その他の情報セキュリティリスクに関して

ISO/IEC27001 及び 27002 に準拠した管理策を行っており、当社の内部監査フレームワークにより、その有効性を監査しています。

#### 5.特記事項

・サービス利用者と当社間のSLA等の合意またはサービス契約に基づく個別事項に係るリスクについて、言明しておりません。

・諸環境（内外の規制、技術等）の不可抗力の変化が、将来的に当社に及ぼすかもしれないリスクについて、言明しておりません。

付 1. 対象リスク (詳細)

クラウド固有のリスク

(1) 情報の漏えいリスクに関して (機密性)		
保護すべき情報が漏えいするリスク	利用者・サービス間の情報隔離に失敗する	H05
	サービスエンジンの制御機能を奪われる	H06
	クラウドプロバイダでの内部不正-特権の悪用	M07
	管理用ユーザインターフェースに、不正にアクセスされ、使用、操作される	M08
	データ転送途上における攻撃、データ漏えい (アップロード時、ダウンロード時、クラウド間転送)	M09
	利用者別の情報削除、廃棄に失敗する	M10
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14
	データの集中により当局によるデータ押収が行われた場合、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L18
	国内外の法令等の開示、提出命令により、他利用者含め情報が開示され、またサービスが停止する	L19
(2) 情報と処理の改ざんリスクに関して (完全性)		
情報及び処理が改竄されるリスク (情報及び処理が網羅されない、正確でないを含む)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大する	H01
	サービスエンジンの制御機能を奪われる	H06
	クラウドプロバイダでの内部不正-特権の悪用	M07
	管理用ユーザインターフェースに、不正にアクセスされ、使用、操作される	M08
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14
(3) サービス利用不能リスクに関して (可用性)		
サービス提供ができなくなるリスク (利用者が利用したいときに、提供できないことを含む)	利用者・サービスの高集約、共有化により、障害が派生、拡大する	H01
	物理/仮想環境の設計・設定・運用の不整合により、機能不全となる	H02
	ある利用者・サービスの停止、抑止に伴い、他利用者がサービスを利用できなくなる	H03
	リソースの事前準備、動的割当が不足し、増大する利用者需要に対応できない	H04
	クラウド内 DDos/Dos 攻撃を受け、サービス不全となる	M11
	外部との相互運用性がなく、利用者のデータ移管、移行ができない (ロックイン)	L12
	サプライチェーン先から提供される業務が不全となる	L14

(4) その他の情報セキュリティリスク		
セキュリティ要件 /リスクカテゴリー	リスク要因	
【機密性】 保護すべき情報が漏えい するリスク	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が有効でない	他 3
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5
【完全性】 情報及び処理が改竄される リスク (情報及び処理が網羅されない、正確でないことを含む)	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が有効でない	他 4
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5
【可用性】 サービス利用ができなくなる リスク (利用者が利用 したいときに、提供できな いことを含む)	外部アクセス含め、アクセスコントロールが、有効に働かない	他 1
	システム開発、保守、運用の管理の適切性が欠けている	他 2
	開発要員、保守要員、運用要員のオペレーションミス防止策が有効でない	他 4
	ウイルス等不正プログラム対策が不備である	他 5

付2. Microsoft Azure 対象サービス一覧

Product Category	Offering / Service
<b>Microsoft Datacenters</b>	
Microsoft Datacenter and Operations Service	
<b>Azure</b>	
Compute	Azure Migrate
	Batch
	Cloud Services
	Functions
	Service Fabric
	SQL Server on Virtual Machines
	Virtual Machines
	Azure Reserved Virtual Machine Instances
	Virtual Machines Scale Sets
Networking	Application Gateway
	Azure DNS
	Content Delivery Network
	ExpressRoute
	Load Balancer
	Network Watcher
	Traffic Manager
	Virtual Network
	VPN Gateway
Storage	Backup
	Data Lake Store
	Import / Export
	Site Recovery
	Storage (Blobs, Disks, Files, Queues, Tables) including Cool and Premium
	StorSimple
Web + Mobile	App Service
	App Service: API Apps
	App Service: Mobile Apps
	App Service: Web Apps
	Azure Search

	Media Services
Containers	Azure Container Instances (ACI)
	Azure Container Service (ACS)
	Azure Kubernetes Service (AKS)
	Container Registry
Databases	Azure Cosmos DB
	Azure Database for MySQL
	Azure Database for PostgreSQL
	Azure Database Migration Service
	Redis Cache
	SQL Database
	SQL Data Warehouse
	SQL Server Stretch Database
Analytics	Azure Analysis Services
	Azure Data Factory
	Data Lake Analytics
	HDInsight
	Stream Analytics
AI + Machine Learning	Azure Bot Service
	Bing Speech API
	Cognitive Services Content Moderator
	Cognitive Services Computer Vision API
	Cognitive Services Face API
	Cognitive Services Text Analytics API
	Language Understanding Intelligent Service
	Microsoft Genomics
	Machine Learning Services (also known as Project Vienna Services)
	Machine Learning Studio
	QnAMaker Service
	Speech to Text (formerly known as Custom Speech Service)
	Translator Speech API
	Translator Text API
Video Indexer	
Internet of Things	Event Grid
	Event Hubs

	Internet of Things (IoT) Hub
	Notification Hubs
Integration	API Management
	Data Catalog
	Logic Apps
	Service Bus
Security + Identity	Azure Active Directory (Free, Basic)
	Azure Active Directory (Premium)
	Azure Active Directory B2C
	Azure Active Directory Domain Services
	Azure Information Protection(including Azure Rights Management)
	Key Vault
	Multi-Factor Authentication (MFA)
	Security Center
Developer Tools	Application Insights
	Application Insights Profiler
	Azure Dev Test Labs
Management Tools	Automation
	Azure Advisor
	Azure Monitor
	Azure Policy
	Azure Resource Manager
	Cloud Shell
	Log Analytics
	Microsoft Azure Portal
Scheduler	
Azure Supporting Infrastructure Services	
<b>Microsoft Online Services</b>	
Microsoft Cloud App Security	
Microsoft Flow	
Microsoft Graph	
Microsoft Intune	
Microsoft Power BI	
Microsoft PowerApps	
Microsoft Stream	